



取り扱い説明書

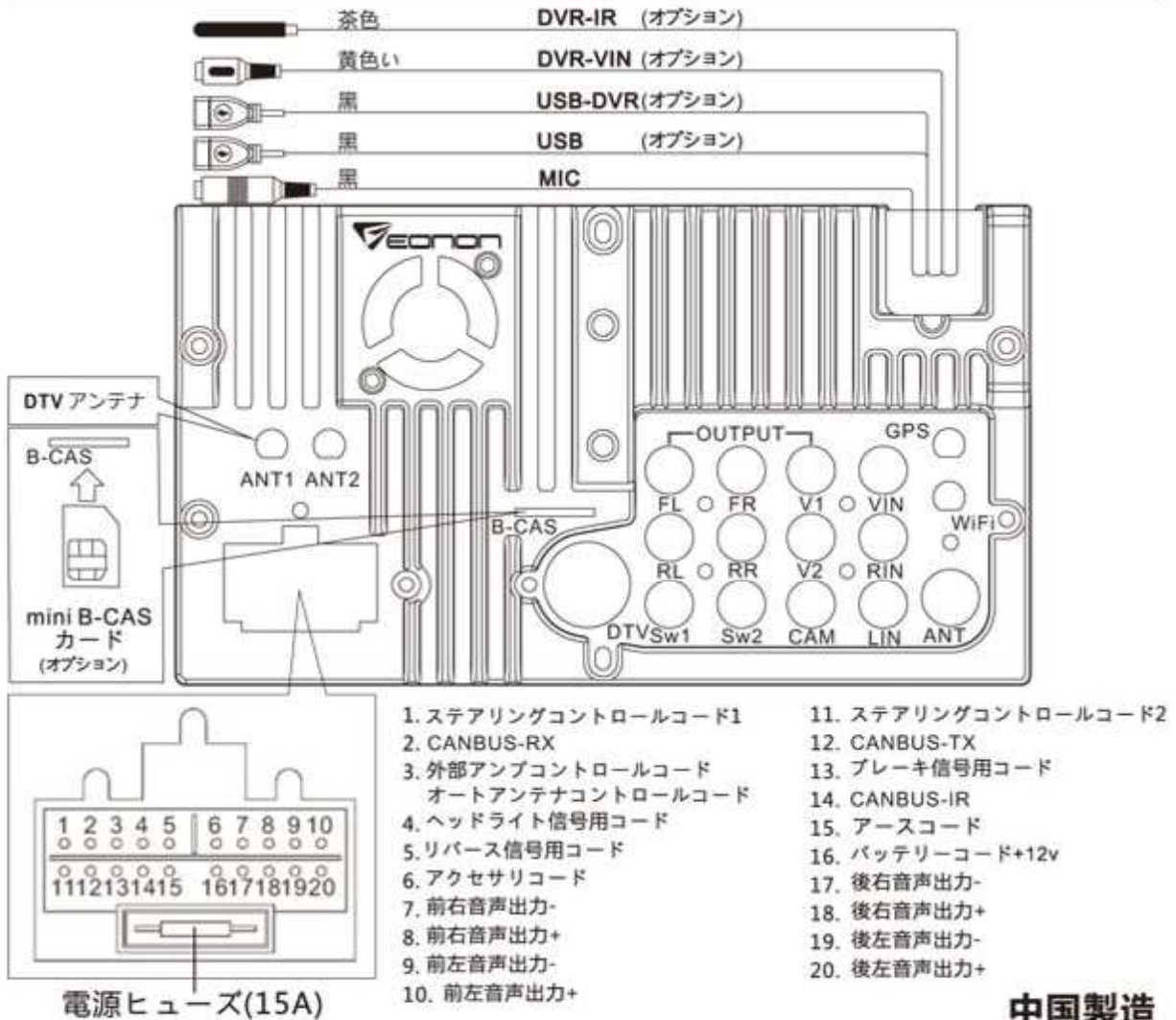
ご使用前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。お読みになった後も、大切に保管してください。

目録

配線接続図	2
メインメニュー	3
設定画面	6
カーナビゲーション(GPS)	12
Bluetooth	12
FM/AMラジオ	15
DVD・CD・SD・USB再生	16
外部入力(AUX)	17
ドライブレコーダ[DVR] (外付け)	18
仮想CDドライブ	18
TVモード (オプション)	21
リモコン機能の説明	32
製品規格一覧	35
故障かな?…と思った	36

ごあいさつ

この度は[EONON]をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
取り扱い説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は車の中に保管してください。



ご注意：電源の接続について、プラス12V電源、マイナスアースであることをご確認ください。また、実際の製品規格を基準にしてください。

注意事項：

- ◆ 本製品は12Vバッテリーとマイナスアースの車専用です。貨物車や大型客車など24Vの大型車両に搭載する場合は変圧装置をご使用ください。
- ◆ 電気系統のショートが発生する恐れがありますので、取付作業前に、バッテリーのマイナス接続を切断してください。
- ◆ 接続コードが他の部品（ハンドブレーキ、シフトレバー）に接触しないよう、固定できるところに設置してください。また、熱がコード絶縁層の溶解と摩滅を引き起こし、接続コードと車体のショート・サーキットの原因になりますので、熱源（暖房排出口など）付近に設置しないでください。
- ◆ 壊れたヒューズを取り替えるとき、必ず規定の(15A)のものをご使用ください。高容量ヒューズ使用、或いはヒューズの不使用は火災と機体破損の原因となりますので、絶対にしないでください。
- ◆ 黄色いバッテリーコードをバッテリーに接続するとき、電源コードを取付穴からエンジンルーム内に引き込まないようにご注意ください。電源コードの破損、車両ショートがする恐れがございます。
- ◆ 他の機器の電源コードを本製品の電源に接続しないでください。過負荷によって過熱が発生する恐れがございます。
- ◆ ショートの恐れがございますので、使用しないスピーカーケーブルは必ず熱収縮チューブ或いは絶縁テープで絶縁処理してください。
- ◆ ケーブルの電線と製品の金属部の接触は、ショートの原因となることがあります。ケーブルなどは絶縁処理を行ったうえ、まとめてください。
- ◆ 車の点火装置にACCの位置がない場合、点火スイッチの鍵で点火コードを「オン/オフ」のできる電源に接続してください。
- ◆ 本製品の電源をオンにした場合、外部アンプ制御信号がコードPOW-AMPを通じて出力するシステムになっています。漏電など故障の原因となりますので、外部アンプを接続した場合、POW-AMPコードをアンプの電源に接続しないでください。
- ◆ アンプ故障の原因となりますので、本製品のスピーカーの出力端子を絶対にアース接続しないでください。また、3線式配線スピーカーシステム、そして、スピーカーのワイヤーを車体に接続しないでください。
- ◆ 本機と接続するスピーカーは必ずハイパワーのものを使ってください。最小定格は50Wで、インピーダンス40のものをご使用ください。複数のスピーカーのワイヤーを直接接続しないでください。また、インピーダンスは定格内のものをご使用ください。でないと、ショート・サーキットを引き起こし、故障の原因となります。








警告：

1. 本機を湿気の高いところに置かないでください。火災や感電事故の原因となります。
2. 機内には危険な高圧部分品が装備されており、本機の蓋を開けないでください。
3. 本機の改造や部品の取替えなどは使用の不便をもたらす可能性があります。必要な時、弊社或いは弊社の委託業者にお問い合わせください。
4. ディスクの挿入口周辺は常に清潔に保ってください！埃などの汚れがありましたら、すぐに拭くよう、お願いいたします；ディスクに埃があれば、機械に挿入する前に必ず柔らかい干し布できれいに拭いてください。汚れなどの混入はディスクの入れや取り出し不働などの動作不良の原因となります。さらにレーザーヘッドを汚れ、ディスク読み込み異常が発する恐れがあります。
5. 長期間のディスク再生、大ボリュームでの使用は本製品の使用寿命に悪影響を及ぼします。本製品を保護するために、本機を長期間使用する場合、ラジオ機能と適当のボリュームでの使用をおすすめします。
6. 本製品は高精度な部品で構成されています。損傷を避けるために、機械の分解、部品お取替えなどは行わないでください。
7. 硬く、鋭いものは液晶ディスプレイを傷つける可能性がございます。ディスプレイに接触しないようご注意ください。

安全注意：

- 運転者が走行中にTVや番組の鑑賞とその他の操作はご遠慮ください。
- 当製品はバック走行時のサポート機能を備えていますが、不注意及びその他の原因で発生した事故について、弊社には一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

フロントパネル上のボタン機能説明：

1. : メインメニューボタン；メインメニュー画面のトップページ以外でこのボタンを押すと、メインメニュー画面のトップページに戻ります。
2. /PWR: 電源ボタン；電源が切れている状態で短押しすると電源が入ります。電源が入っている状態で短押しするとミュートし、長押しすると電源が切れます。
3. MODE: モード切替ボタン；このボタンを押すとDVD/ラジオ/AV外部入力の順にモードが切り替わります。
4. /MUTE: ミュートボタン；短押しするとミュートします/ミュート状態で押すと解除します。
5. 目的地ボタン: このボタンを押すと、カーナビモードの目的地操作画面に入ります。
6. 現在地ボタン: このボタンを押すと、カーナビモードの現在地画面に入ります。
7. VOL/VOL+VOL-: 音量の増減ボタン；音量が30以上の状態で電源を切ると、再起動時の音量は自動的に30になります。突然の大音量で耳を傷つけないように設定されています。
8. TUN: ラジオチャンネル手動スキャン用ダイヤルです。反時計回りに回すと周波数が下がり、時計回りに回すと周波数が上がります。
9. SEL: サウンド設定ボタン；このボタンを短押しするとサウンド設定画面に入ります。サウンド設定画面表示中に再度押すと退出して元の画面に戻ります。
10. RADIO: ラジオボタン；ラジオモード以外のモード使用中にこのボタンを押すと、ラジオモードに入ります。
11. : イジェクトボタン。機器内にディスクが挿入されている場合、このボタンを押すとディスクが自動的に排出されます。
12. : 前曲ボタン。メディア再生中にこのボタンを押すと、再生中のトラックの冒頭に戻ります。もう一度押すと前のトラックに戻ります。
13. : 次曲ボタン。メディア再生中にこのボタンを押すと、次のトラックに進みます。
14. : 再生/一時停止ボタン。メディア再生中にこのボタンを短押しすると一時停止します。もう一度押すと再生します。
15. RES: リセットボタン；機器が異常またはフリーズが発生した場合、このボタンを押してリセットすると、再起動して正常な状態に復帰します。

メインメニュー



- | | | | |
|----------|----------------|----------|-----------|
| 1.GPSモード | 2.Bluetoothモード | 3.ラジオモード | 4.DVDモード |
| 5.TVモード | 6.AUXモード | 7.DVRモード | 8.VMCDモード |
| 9.USBモード | 10.SDカードモード | 11.設定画面 | |

メインメニュー画面は3ページ表示されます。画面をスワイプするか、メインメニュー画面の矢印をタッチすると前後のページに移動できます。

注：DVD、SDカード、USBメモリが挿入またはされていない、または外部デバイスが接続されていない場合、該当するアイコンをタッチすると”No device!”と表示されます。



設定画面:

をタッチすると設定画面に入ります。右の ボタンをスライドしてページをめくることができ、 をタッチすると戻ります。 をタッチすると、スクリーン表示モードを【昼間→夜→スクリーン表示OFF】の順に切り替えることができます。

下図の通りです



設定画面には、システム設定、音声設定、映像設定、衛星情報、ナビゲーションパス、時間、言語、ステアリング、バックライト、起動画面表示LOGO設定、システム情報の各下位設定メニュー画面があります。

1:システム設定 画面1



ブレーキ検出：ON/OFF（OFFにすると走行中の映像の表示がONになります。）

ボタン操作音：ボタン操作音のON/OFF

バックカメラ：リバース信号検出のON/OFF、ONの状態です車をバックすると信号を検出し自動的にバックカメラ映像に切り替わります。カメラを取り付けていない場合はOFFにしてください。

バックミュート：ON/OFF(ONにすると、バック中本体の出力音声をミュートします)

バックカメラ映像：正像／鏡像を切り替えます。

ヘッドライト検出：ヘッドライト検出機能のON/OFF；ONにすると、ヘッドライトの点灯に連動して、画面表示が自動的に暗くなります。（ディマー機能）

画面2



ラジオ受信エリア：【ヨーロッパ、アメリカ、日本、東欧、南米】から使用する地域に該当するものを選択します。

注：受信エリアの変更後、本体のリセットが必要です。

カーナビ音声ミキサー：カーナビ音声案内出力時の、その他の音声のバランスを設定します。
 【OFF】を選択すると、カーナビ音声案内だけが流れ、その他の音声はミュートします。
 【下げる】を選択すると、カーナビ音声案内出力中はその他の音声の音量が下がります。
 【通常】を選択すると、音声案内中もその他の音声の音量は変わりません。

画面3



前曲、次曲の切り替え：ONにすると前曲と次曲と切り替えます。

ドアコントロール左右切替： 起動後に、ドアコントロール信号出力の左右を切り替えることができます。

純正アンプ：起動後に、音声出力を純正アンプ出力に切り替えることができます。

2:音声設定

画面1



イコライザ (EQ) 設定：イコライザ (USER/POP/ROCK/CLASSIC)、ラウドネス、重低音の設定を行います

画面2



上下左右の方向ボタンで、音声のバランスを調節します。

3.映像設定



画面の明るさ、コントラスト、彩度を調節します。プリセットボタン【標準】【ソフト】【明るい】【鮮やか】から設定することもできます。

4.衛星情報



GPS衛星関連の電波情報を表示することができます。

5. GPSナビゲーション設置



「初期状態で、GPSナビゲーション機能を正常に動作するため、地図ソフトSDカードを挿入した後、設定画面でGPSルートを正確に設置することが必要です。GPSルート設定画面で、本体は自動的に*.EXEファイルを検出され、*.EXEファイル見たいなアイコンが表示しています。そのアイコンをタッチした後、【OK】ボタンをタッチしてください。それでGPSルートの設置は完了となります。

6. 時間設定



時間と日付のほか、12時間表示と24時間表示の切替、タイムゾーンを設定します。次ページに移動する場合は上方向にスライドします。

7. 言語設定



表示言語を選択します。

8.ステアリ



車両のステアリングスイッチに本体の機能の操作を設定することができます。設定が完了すると、ステアリングスイッチで直接本体の操作が可能になります。ご使用の車両にステアリングスイッチが搭載されている場合、次の手順でステアリング学習機能を設定してください。

1.エンジンを切った状態で、ステアリングコントロールコード（車両によって2本のものものと3本のものがあります）と車両のアース線を取り出し、本体と接続します。ご使用の車両にステアリングコントロールコードが3本ある場合は、そのうちの2本を本体のステアリングコントロールコードに接続します。2本の場合は、どちらか1本をステアリングコントロールコードに接続します。

2. 正確に接続したことを確認したら、電源を入れてステアリング設定画面に入ります。

3. 【スタート】 ボタンを押す⇒本体画面に「学習する機能ボタンを選択してください」と表示される

⇒画面の機能ボタンをタッチ⇒「ステアリングスイッチを3秒間長押ししてください」と表示される

⇒設定する車両のステアリングボタンを3秒間押す

⇒本体画面に「ステアリングスイッチ設定が終了しました！」と表示されたら設定完了です。

もう1つのボタンも同じ手順で設定を行います。

9.バックライト設定



本体フロントパネルのLEDバックライトの色を7色から選択します。ライトをオフにすることもできます。

10.起動LOGO画面



パスワード：5802を入力すると、次の画面に入ります。



任意のエンブレムロゴを選択し、 ボタンをタッチすると設定完了です。

11.システム情報



本製品のシステム情報を表示します。

ナビゲーションモード

初めてナビゲーションを起動する前に、設定メニューのナビゲーションパス設定画面で、【*.EXE】ファイルを選択して設定し、GPS衛星の電波情報を確認してください。また、システム設定画面の【カーナビ恵音声ミキサー】でナビ音声案内とその他のモードの出力音声のバランスを設定することができます。

使用上のご注意と安全警告

- 1.カーナビシステムは慎重にご利用ください。本システムの提供する情報はあくまでナビゲーション用のものであり、方位、距離、地点、地形などの精密測量に使用しないでください。
- 2.初めてGPSナビゲーションシステムを使用するとき、広く、上方に遮蔽物がないところでご注意ください。周辺環境と衛星の状態によって、最初の位置測定は2分以上かかる場合がございます。
- 3.ご安全運転のため、出発前にルートを予め設定してください。前方の状況を見逃して事故になる恐れがありますので、運転中のご設定はご遠慮ください。事故になった場合、弊社は責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 4.トンネル、建築物内部、地下道、気候変化激しいところ、周囲に高い障害物のあるところ、携帯電話基地局付近などを通過するとき、カーナビシステムが正常に動作できない可能性がございますが、該当エリアを離れると速やかに回復します。
- 5.あらゆる無線通信設備（携帯電話、レーダー探知機）が、衛星の信号受信を干渉する可能性がございます。予めご了承ください。
- 6.ルート案内はあくまで地図情報に基づいて行いますので、道路の改修、標識の改変などによって現在状況に合わない可能性がございます。現地の実況状況に合わせて運転するようお願いいたします。

Bluetoothモード

Bluetooth機能で、ハンズフリー通話および携帯電話に保存した音楽をカーオーディオで出力することができます

1. Bluetoothペアリング条件

ご使用の携帯電話がBluetooth機能に対応している必要があります。携帯電話と機器本体をペアリングすると、データの伝送が可能になります。

2. 携帯電話と本体とのBluetoothペアリング手順

- 1)本体のメインメニュー画面でBluetoothアイコンをタッチしてBluetoothモード画面に入り、 ボタンを押して次の画面に進みます

スキャンボタンをタッチし、本体のBluetoothデバイス検出を有効にします。



- デバイス検出オン（初回接続時は必ずこのボタンをタッチしてください）
- ペアリング接続
- ペアリング切断
- デバイス名称とパスワードの変更

- 2)接続する携帯電話のBluetooth設定をオンにして、携帯電話で本体のデバイス名称【EONON】を検索します。画面のメッセージに従って初期パスワード(5802)を入力して接続を行います。
- 3)ペアリングが成功すると、以下の図のように、本体の画面に「デバイス接続済」と表示されます。



3. Bluetooth電話画面の操作

- 1) をタッチすると、下図のようにBluetooth電話のダイヤル画面に入ります。



- 削除ボタン：電話番号の入力を間違えたとき、このボタンを押せば削除できます。
- 電話に出る/電話をかけるボタン:電話番号を入力してから、このボタンをタッチすると電話をかけることができます。電話がかかってきたとき、このボタンをタッチすると電話に出ることができます。
- 通話終了ボタン：このボタンで電話を終了できます。電話がかかってきたとき、このボタンをタッチすると受信拒否ができます。
- 音声切替ボタン：通話中、このボタンをタッチすると、通話相手の音声を車のスピーカーと携帯電話との間で切り替えることができます。

- 2) をタッチすると、下図のようにBluetooth電話のダイヤル画面に入ります



- ボタンをタッチすると、電話帳のリストに表示されている電話番号を選択して電話をかけることができます。
- ボタンをタッチすると、携帯電話上の電話番号を本体の電話帳にダウンロードできます。
- ボタンをタッチすると、引き続き携帯電話上の電話番号を本体の電話帳に伝送することができます。(電話番号のダウンロードにが中断した場合) ボタンをタッチすると、キーボードがポップアップされ、文字を入力して連絡先の電話番号を検索することができます。
- ボタンをタッチすると、キーボードがポップアップされ、文字を入力して連絡先の電話番号を検索することができます。

3) をタッチすると、下図のようにBluetooth電話のダイヤル画面に入ります



- ボタンをタッチすると、電話帳のリストに表示されている電話番号を選択して電話をかけることができます。
- をタッチすると発信履歴を表示します。
- をタッチすると、不在着信履歴を表示します。
- ボタンをタッチすると、着信履歴を表示します。
- ボタンをタッチすると、全ての通話履歴を表示します。

4. をタッチすると、Bluetooth音楽画面に入ります。



- 前曲ボタン:再生中にこのボタンをタッチすると、前の曲に戻ります。
 - 再生/一時停止ボタン:再生中にこのボタンをタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると再生状態に戻ります。
 - 次曲ボタン:再生中にこのボタンをタッチすると次の曲の再生が開始します。
 - 停止ボタン:この場合の再生は、曲の一番最初から改めて再生します。
- ページに移動する場合は上方向にスライドします。

5. をタッチすると、Bluetoothの設定画面に入ります。



- ・デバイス名称とパスワード変更は任意に変更できます。
- ・Bluetoothの自動接続設定:自動接続をオンにすると、次回本体起動時に、本体と携帯電話のBluetoothは自動的に接続されます。携帯電話のBluetoothを一度オフにした場合は、再度手動での接続が必要になります。
- Bluetooth自動受信設定:この自動受信機能をオンにすると、受電時に自動的に出られます。

ラジオモード

本製品には高品質のAM/FMチューナーが搭載されています。AM/FMチャンネルの自動スキャン機能、チャンネルの登録、周波数表示、周波数調整などの操作ができます。FMバンドの操作画面は下図のとおりです。



1. をタッチすると、周波数の低い方へチャンネルをスキャンし、 をタッチすると、周波数の高い方へスキャンします。

をタッチしてバンドを切り替えます。【FM1、FM2、FM3、AM1、AM2】

をタッチすると、登録したチャンネルをブラウズすることができます。長押しすると、自動的にチャンネルをスキャンし、周波数の順にプリセットに上書き登録します。

2. FMバンドで、LOCボタンをタッチすると、近距離受信と遠距離受信を切り替えることができます。デフォルトでは遠距離受信です。AMバンドにはこの機能がありません。

3. RDSのPTY、AF、TA機能(注：日本ではこの機能は非対応です)。PTYをタッチすると、番組種別が表示されます。

PTY種別を設定すると、設定した種別の放送局を自動的にスキャンします。

AF（周波数自動調節）機能：受信中のチャンネルの受信状態が悪くなった場合、その他のチャンネルの周波数を自動的にスキャンします。

TA（交通情報アナウンス識別）機能ON/OFF：TAをONにすると、全ての交通情報アナウンスのRDSチャンネルを自動的にスキャンします。TA機能がONの状態では、ラジオ以外モード使用中でも、警報情報が入ると優先的に切り替わります。

DVD SD USBモード

DVD、SDカード、USBメモリを挿入すると自動的に各メディア再生モードに入ります。本体にDVD、SD、USBが既に挿入されている場合は、メインメニューで各アイコンをタッチするとそれぞれの再生モードに入ります。



1/3

操作バーのページを切り替えます
(計3ページ)



前曲ボタン



次曲ボタン



再生 / 一時停止ボタン



停止ボタン



EQボタン



リピート再生モードの選択



ランダム再生



タイトルメニュー表示



ズーム

ROOT

ルートメニュー表示




 字幕言語の表示  数字キーでの選曲


 アンクル切替機能付きのディスク再生中に、このボタンを押すとアンクルを変えられます  オーディオチャンネル選択

外部入力モード

メインメニュー画面のAVINアイコンをタッチすると次の画面に入ります。




 ボタンをタッチすると設定画面に入り、音声や映像の設定を行うことができます。


 ボタンをタッチするとメインメニュー画面に戻ります。

DVRモード (オプション)

メインメニュー画面のAVINアイコンをタッチすると次の画面に入ります。





 ボタンをタッチすると設定画面に入り、 音声や映像の設定を行うことができます。

 ボタンをタッチするとメインメニュー画面に戻ります。

バーチャルディスクドライブ (VMCD) モード

1: CDトラックの録音 (注: CD ディスクのみ録音対応)

1) CDディスクを本体に挿入した状態で、録音するSDカードまたはUSBメモリを挿入すると、CDのオーディオファイルをSDカードまたはUSBメモリにコピーします。

2.  ボタンをタッチすると、メインメニュー画面に戻ります。DVDアイコンをタッチすると、ディスクモード画面に入ります。  をタッチすると、トラックリスト画面が表示されます。



4. をタッチして録音するデバイスの選択画面に入ります。



5. SDカードまたはUSBメモリのアイコンをタッチすると次の画面に入ります。



- お気に入り；このボタンをタッチすると、そのトラックをSDカードまたはUSBメモリのお気に入りリストに保存することができます。
- 録音ボタン；このボタンをタッチするとそのトラックをSDカード／USBメモリに録音します。
- 停止ボタン；録音中にタッチすると録音が停止します。
- 高速録音：ON/OFF

2.VMCD再生

録音の終了後、メインメニュー画面のVMCDアイコンをタッチすると再生デバイス選択画面に入ります。



曲をレコーディングしたデバイスアイコンをタッチすると、次の再生画面に入ることができます。



- ◀ 前曲
- ▶ 再生/一時停止
- ▶▶ 次曲
- ◀▶ リピード再生モード選択
- 🗑️ 削除
- お気に入り追加

🔙 ボタンをタッチすると、お気に入りリストが表示されます。




TVモード（オプション）

本体画面のDTVアイコンをタッチすると、次の画面に進めます。



TVモードのアイコン説明：

 モード使用中に画面をタッチするとこのアイコンが表示されます。このボタンをタッチするとメインメニュー画面に戻ります。

（詳しい操作に関しては、テレビチューナーの取扱説明書をご参照ください）

地デジチューナー内蔵

接続図

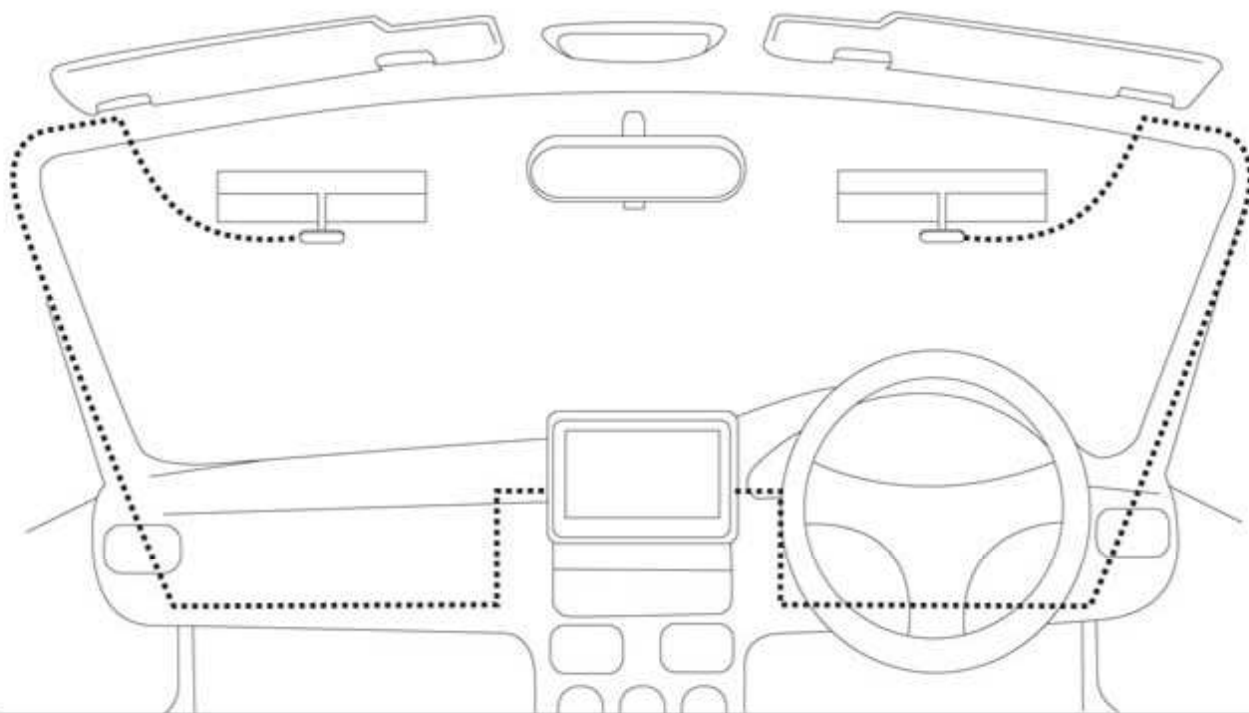
下図のようにB-CASカードを挿入してください。



注：B-CASカードを取り出す場合はカードを軽く押すと出てきますので、ゆっくり抜いてください。

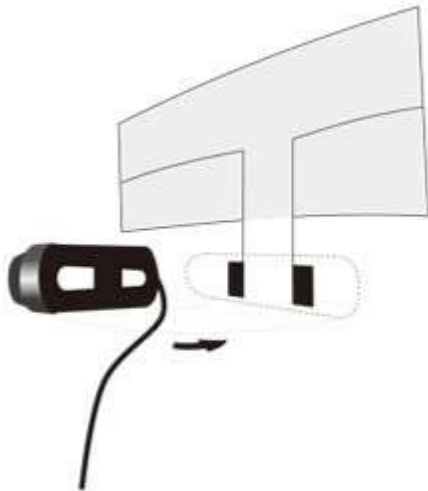
アンテナの取り付けについて

フィルムアンテナ背部のシールを剥がして、フロントガラスに貼り付けます。なお、信号干渉が発生しますので、断熱フィルムに貼りつけないでください。次に、フィルムアンテナ正面の保護シールを剥がします。

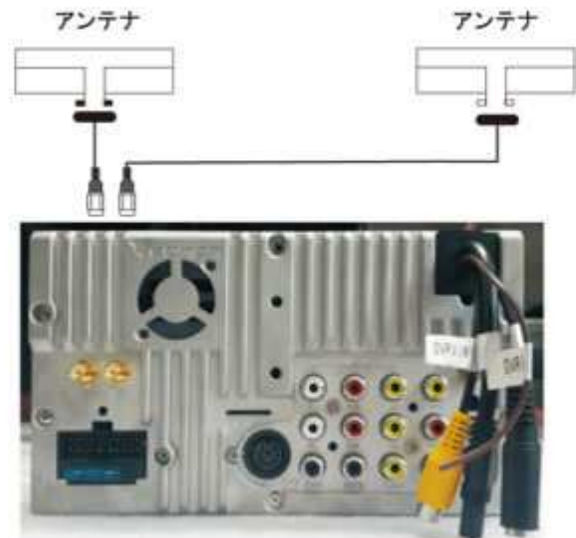


注：フィルムアンテナを貼りつける時は、汚れやほこりが付着しないようガラスを清潔にしてください。

電極接続部の粘着フィルムを剥がして、フィルムアンテナの金属片部分に貼りつけてから、20～30秒押しつけます。



アンテナケーブルのプラグを本体のアンテナ端子に挿します。



地上デジタル放送の視聴と設定

地上デジタル放送の初期設定と操作方法について説明します。
地上デジタル放送を観る前に地デジチューナーの初期設定を行います。
快適にお使いいただくため以下の手順従って設定を行ってください。

使用上の注意

- ※B-casカードが挿入されていない場合は番組の視聴ができませんのでご注意ください。
- ※工場初期化をする場合はメモリー情報が消去されますのでご注意ください。
- ※電波環境によっては放送を受信できない場合があります。
- ※電波環境によってはブロックノイズが出る場合があります。
- ※チャンネルフルサーチ/中継局サーチ機能は、放送電波が見つかるまでサーチを続けます。サーチが止まらない場合は電波が届いていないエリアですので故障ではありません。


・地上デジタルチューナーの初期設定をする

1. メインメニュー画面の「テレビ」アイコンにタッチします。



2. テレビ画面が表示されたら画面に一度タッチすると「コントロールキー」が表示されます。



※タッチアイコン  は表示されません。説明を分かりやすくするために合成したものです。

3. アイコンが表示されたら「メニュー」キーをタッチすると設定画面が表示されます。

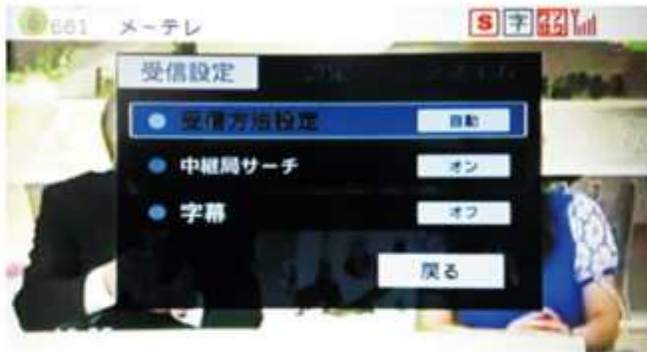


※数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます

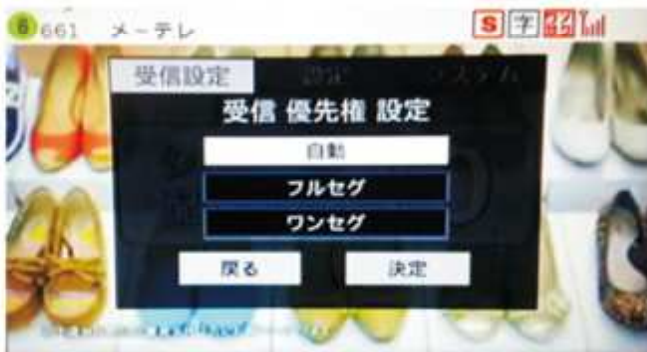
・受信設定をする

「受信設定」では、セグメントの切替え方法、中継局サーチの作動設定、字幕表示の有無を設定します。

- 1.ワンセグ/フルセグの切り替え方法を選択するには「受信方法設定」キーにゆっくり2回タッチします。



- 2.「自動」「フルセグ」「ワンセグ」の中から受信方法をタッチして選択し「決定」キーをタッチすると確定します。



※「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

・中継局サーチの設定をする

? 中継局サーチとは？

地デジの電波には「親局周波数」と「中継局周波数」があり、常に移動する車は複数の周波数を使い分ける事でテレビの視聴を可能にしています。

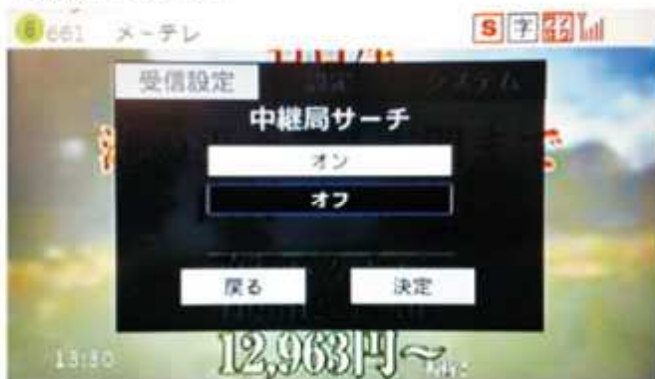
中継局サーチは今まで受信していた周波数電波が途切れても引き続き番組を視聴できるよう、その地域に適した周波数を検出して自動で切り替える事で、今まで観ていた番組を引き続き視聴するための機能です。

本製品は放送電波をキャッチするまで状況に応じて中継局サーチとチャンネルフルサーチを使い分け、電波をキャッチすると放送を開始しますので手動でサーチする必要がありません。

1. 「受信設定」画面から「中継局サーチ」キーをゆっくり2回タッチします。



2. 電波環境やお好みに応じて「オン」または「オフ」にタッチし「決定」キーをタッチすると確定します。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

・字幕放送の設定をする

1. 字幕表示の有無を設定するには「受信設定」画面から「字幕」キーをゆっくり2回タッチします。



2. 「オン」か「オフ」にタッチし、「決定」キーをタッチすると確定します。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

・言語の設定をする

1. 言語を設定するには「設定」キーにタッチすると「言語」設定画面が表示されます。
2. 「言語」キーをゆっくり2回タッチすると言語選択画面が表示されます。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

3. 「日本語」または「英語」を選択し「決定」キーにタッチすると確定します。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

・音声の設定をする

音声設定機能について

テレビ放送には主音声と副音声が存在し、通常は「主音声」に設定して使用します。副音声は洋画などの2ヶ国語放送の場合、英語音声を聴くことができます。ドラマなどでは目の不自由な方のために副音声で内容の解説が行われています。設定を変更することで好みの音声で放送をお楽しみいただけます。

1. 音声を設定するには「設定」キーにタッチすると「音声」設定画面が表示されます。
2. 「音声設定」キーをゆっくり2回タッチすると、「音声設定」選択画面が表示されます。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

3. 「主音声」または「副音声」を選択し「決定」キーにタッチすると確定します。



※ 「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

・デバイス情報を表示する

1. デバイス画面の見るには「システム」キーをタッチし「デバイス情報」キーをゆっくり2回タッチします。



2. B-CAS情報とバージョン情報が表示されます。



※ 「戻る」 キーをタッチすると元の画面に戻ります

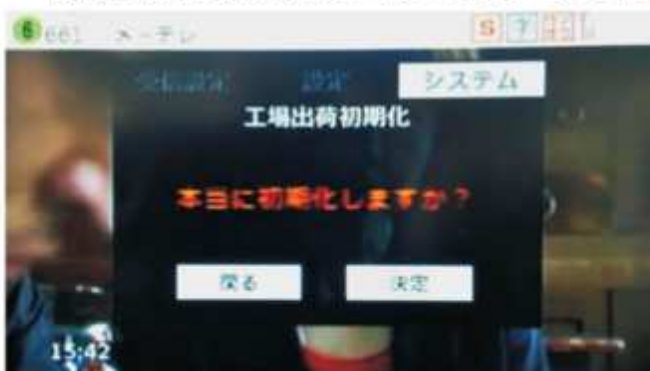
・工場出荷時の状態に初期化する

1. 工場出荷時の状態に初期化をするには「システム」キーをタッチし「工場出荷初期化」キーをゆっくり2回タッチします。



※ 「戻る」 キーをタッチすると元の画面に戻ります

2. 「本当に初期化しますか？」と表示されたら「決定」キーを押すと初期化を行います。初期化が完了するとチャンネルサーチを自動で開始します。



※ 「戻る」 キーをタッチすると元の画面に戻ります

・地上デジタル放送を観る

- ・メインメニュー画面の「テレビ」アイコンにタッチすると地上デジタル放送を開始します。



- ・チャンネル変更するには、画面を一度タッチするとコントロール画面が表示されます。コントロールキーを呼び出すには画面を一度タッチすると表示されます。
※ 数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます



- ・「CH+」キーで次のチャンネルに送る、「CH-」キーで前のチャンネルに戻すことができます。
※ 数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます



- ・メモリーチャンネル一覧を表示するには「リスト」キーをタッチしするとチャンネルリストが表示されます。

※数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます



- ・このリストからチャンネルを選択する場合は「UP」キー「DOWN」キーでチャンネルを選択し、「決定」キーにタッチするかチャンネルリストに直接タッチするとチャンネルが替わり放送を開始します。

※数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます



※「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

- ・番組情報を見るには「番組表」キーをタッチします。

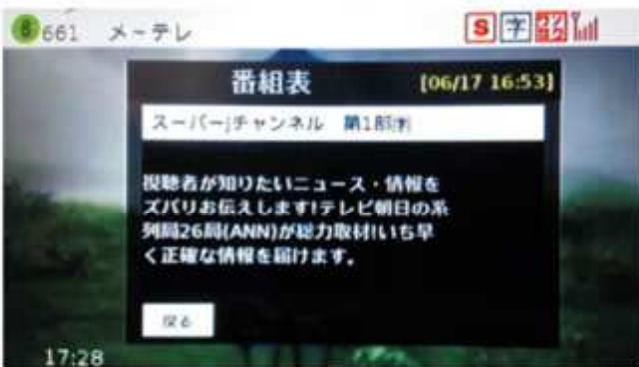
※数秒経過するとコントロールキー表示は解除されます



- ・「番組表」キーをタッチすると番組表が表示されます。番組一覧にタッチすると番組内容が表示されます。「戻る」キーをタッチすると放送画面に戻ります。
「UP」キー「DOWN」キーで番組表をスクロールすることができます。



(以下は番組内容表示画面)



※「戻る」キーをタッチすると元の画面に戻ります

リモコン

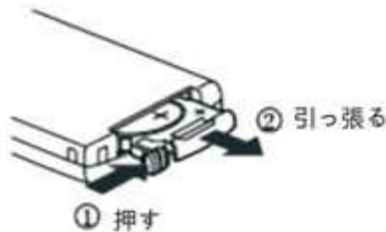
リモコンの使用

- ・CR2025リチウム電池をご使用下さい。
- ・一般的に、リモコン電池の使用寿命は約1年です。リモコンの操作が効かなくなった場合は、すぐに電池を交換してください。
- ・高温または直射日光の当たる場所にリモコンを置かないでください。リモコンが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ・電池を交換する際は、電池のプラス極・マイナス極の向きを正確に装着して下さい。
- ・金属のピンセット等で電池に触れないでください。ショートの原因となります。

リモコンの電池交換

1: 電池を取り出す

図のように、リモコンの背面から電池カバーごと取り出します。



2: 電池の取付

CR2025リチウム電池を使用し、下図のように電池の+極と-極の向きを正確に電池カバーに装着してください。



★ご注意：初めてリモコンを使用する前に、電池カバーの絶縁フィルムを引き抜いてください。

リモコン各部分の機能紹介

1.PWR

電源スイッチ：電源オフの状態を押すと起動し、起動時に長押しすると電源が切れます。起動時に短押しするとミュートします。

2.EQ

Bluetoothモードでこのボタンを押すと、電話発信／着信応答することができます。

3.ANGLE/AMS

マルチアングル機能対応のディスク再生中に、このボタンを押すと、映像のアングルを切り替えることができます。

4.SUB-T/LOC

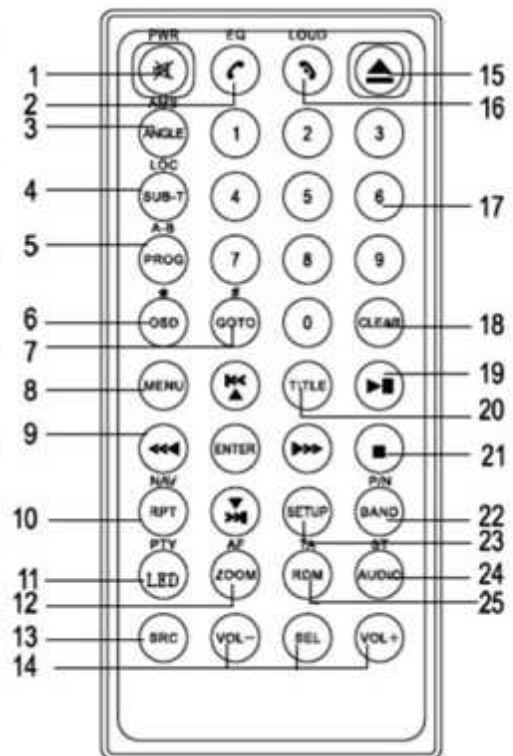
DVDモードでは、このボタンを押すと、字幕の言語が切り替わります。

5.PROG/A-B

各種再生モードで、このボタンを押すと、プログラム再生の順序を設定することができます。

6.OSD/*

各種再生モードでは、このボタンを押すと再生情報を表示します。その他のモードでは、このボタンを押すと時間・前/後のディスプレイの出力モード・現在再生可能なデバイス（DISC/SD/USB）を表示します。



7. GOTO/#

DVDモードでは、このボタンとカーソルキーで、タイトル・トラック/チャプター・ディスク音声・字幕・角度・タイトル時間、チャプター時間、リピート再生、時間表示の各項目を選択、確認ボタンを押してメニュー画面に入ると、各種設定ができます。

VCDモードでは、このボタンとカーソルキーで、曲・ディスク時間・トラック/チャプター時間・リピート再生、時間表示の各項目を選択し、確認ボタンを押してメニュー画面に入ると、各種設定ができます。

CD/MP3モードで、このボタンを押して、トラック時間 "--;--" またはトラック数: --;XXを選択します。それぞれの画面で0~9の数字キーを押すと、トラックまたは時間を直接指定でき、その時点から再生を開始します。

8. MENU

すべてのモード画面で、このボタンを押すとメインメニュー画面に切り替わります。

9.

ラジオモードではチャンネルを選局します。

DVDメニュー画面では、リストからチャプターを選択することができます。ENTERを押して決定します。

10. RPT/NAV

各種再生モードで、このボタンを長押しすると、リピート再生機能がオンになります。

11. PTY/LED

LEDボタンを短押しすると、LEDボタンバックライトの色を切り替えることができます。

12. ZOOM/AF

DVD/VCDの再生中に、このボタンを押すと、画面のサイズを選択することができます。

13. SRC

このボタンを押すと、モードを切り替えることができます。

14. VOL-/VOL+/SEL

- / + ボタンを押すと、音量が小さく / 大きくなります。SELボタンを押すと、イコライザ設定モードに入ります。

15.

ディスクを取り出します。

16. LOUD

Bluetoothモードでこのボタンを押すと、通話を終了します。

17. (0~9) NUMBER BUTTON

ラジオモードでは、1-6の数字ボタンで、プリセットのチャンネルを選択することができます。

長押しすると、その数字に受信中のチャンネルを登録することができます。

18. CLEAR

入力を間違えた際、このボタンで入力をクリアすることができます。

19.

このボタンで一時停止及び再生することができます。

20. TITLE

DVDモードで、このボタンを押すと、タイトルメニュー画面に戻ります。

VCDモードで、このボタンを押すとPBC機能をオン/オフします。

21.

このボタンを押すと再生を停止します。

22. BAND/PN

ラジオモードで、このボタンを押すと、バンドを切り替えることができます。

23. SETUP

すべてのモードで、このボタンを押すと、設定画面に切り替えることができます。

24. AUDIO/ST

このボタンを押すと、イコライザ設定モードに入ります。

25. RDM/TA

各種再生モードで、このボタンを押すと、ランダム再生がオンになります。

製品規格

一般規格

電源	DC 12V(10.8~16V)
抵抗	4Ω
最大電流	15A
最大消費電力	4X65W

DVDプレーヤー

オーディオ出力	2.0Vrms±0.3V 10KΩ
Sn比	95dB (1KHz)
歪み率	0.01%
分離度	75dB (1KHz)
周波数応答	±3 dB (20Hz~20KHz)
ビデオ出力	1.0Vp_p±0.2V/75Ω

FMラジオ

周波数範囲	76-90MHZ (日本)
IF	10.7MHZ
実際感度	10dB
Sn比	65dB
歪み率	0.2%
分離度	30dB(1KHz)

AMラジオ

周波数範囲	522~1629KHz
IF	450KHZ
実際感度	35dB
Sn比	50dB
歪み率	0.3%

- 1.小さいパーツは子供が触れないところに置いてください。
- 2.取付は、付属の部品を使用してください。
- 3.自動車により、取付用パーツも異なる恐れがあります。
- 4.専門業者に依頼することをお勧め致します。

トラブルシューティング

症状	原因	解決方法
電源が入らない	本体との配線の接続が正確でない	配線図に照合し、すべての接続が正確かどうかを確認してください。
	ヒューズが損傷しているかどうかを確認。	同じ型のヒューズを交換してください。
	その他の原因によるMCUの動作不良。	パネルにあるRESETボタンを押し、再起動してください。
ディスクが再生できない	ディスクが汚れている	ディスクをクリーニングしてください
	挿入したディスクが本製品が再生できない種類	ディスクの種類を確認してください
	挿入したディスクの映像システムが本製品と対応できない	ディスクを交換してください
エンジンON/OFF後、保存データがすべて紛失。	ACC電源コードとバッテリー電源コードの接続ミス	コードの位置を交換し、接続し直してください。
リモコンが作動しない	リモコンの電池切れ	リモコンの電池を新しいものに交換してください
音声なし	接続が不正確。	接続を検査してください。
	ミュートにしたかどうかを確認。	音声をオンにしてください。
	早送り・巻戻しあるいはその他の操作が実行中である。	早送り・巻戻し実行中は、音声を再生することができません。
	ボリュームが低い。	ボリュームを大きくしてください。
「」が表示されており、操作ができない	再生中のディスクではこの操作が禁止	操作不可能
	再生中のディスクの形式に対応していない操作である。	操作不可能
ディスクが挿入できない	中には既にディスクが挿入してある	内部のディスクを取り出してから、新しいディスクを挿入してください。
ノイズ	ディスクが故障、或いは汚れている	ディスクをきれいにし、或いは新しいディスクを交換してください。
映像が表示されない	機体とモニターの接続不良	接続をやり直してください
液晶画面のちらつき	映像方式の設定が間違っています	「PAL」あるいは「NTSC」を設定してください。
Bluetoothが作動できない	携帯電話と製品本体とのBluetooth接続が切断されている。	操作方法に従って、操作を行ってください。
Bluetoothモードで音量が大きすぎる	DVD プレーヤーの音量が大きすぎ。	小さくしてください。
Bluetooth通話は途切れ途切れになる	Bluetooth接続中の携帯電話が製品本体と離れている。	Bluetoothを利用する場合、携帯電話は製品本体から5メートル以内に置いて使用して下さい。